

# に お こ すくすく仁尾っ子シアターVI



とらまる人形劇団 第15回作品

## あさこ と ゆうこ

長野県の昔話「あさこ・ゆうこ」より

演出・大久保一康 / 音楽・西尾賢

## とらまる人形劇団公演



令和元年

8月18日(日)

13:30~15:30

かいじょう  
(開場13:00)

にゅうじょうむりょう

★入場無料★(定員100名)

におちょうぶんかいかん  
仁尾町文化会館

かいたもくてき  
1階多目的ホール



### ◆ 保護者の皆様へ ◆

※駐車場には限りがございますので、徒歩・自転車・乗り合わせ等ご協力をお願いします。

(文化会館駐車場の他、市民センター仁尾駐車場・旧仁尾保育所跡駐車場もご利用下さい。)

※近隣の方の迷惑になりますので、路上駐車は絶対にご遠慮下さい。

※ホール内は原則飲食禁止となりますが、水分補給程度の飲み物は構いませんので各自ご用意下さい。

※申込み多数の場合は抽選となる場合もございますのでご了承ください。

締切日 8月5日(月)

### 申込み・問合せ先

まちづくり推進隊仁尾 事務局 (市民センター仁尾内)  
(電話での申込みは受付しません) TEL: 82-5207

※ 切り取り ※

「すくすく仁尾っ子シアターVI」 申込書

まちづくり推進隊仁尾

氏名	住所 (自治会)	電話番号	備考
	( )		

【申込みは、まちづくり推進隊仁尾事務局までお願いします。】

## 【上演作品あらすじ】

とらまる人形劇団 第15回作品

# あさこ と ゆうこ

長野県の昔話「あさこ・ゆうこ」より

演出・大久保一康／音楽・西尾賢

ふたりの小さな子どもが、知恵と勇気と理想をかてに、ふたつの村をひとつにするまでの物語

山の東と西のふもとに、それぞれ小さな村がありました。東の村と西の村は、ささいな出来事がきっかけで行き来しなくなってから、五十年の月日が経っていました。村から村へつながる道が無いので、村人たちの生活はとても不便です。道さえあれば、買い物へ行くにも、お医者さんへ行くにも、困ることはないのに…。

そんな東の村に、西の村から突然届いた挑戦状。さあ、東と西の知恵くらべだ。負けた方の村が、勝った村の子分になって、道をつくることになります。どちらも負けてたまるかと大騒ぎです。東の村には「あさこ」、西の村には「ゆうこ」という、かしこい女の子がいます。どちらの村も勝ったつもりでいるけど…。村の代表になった二人は知恵を出し合い、仲直りの作戦を考えます。そうだ、知恵くらべは引き分けだったことにして、道づくりの競争にしよう。あさこ・ゆうこは、計画がうまく運ぶようと握手をしました。

そうして約束の日、夜明けと同時にスタートした道づくりに、村人たちは一生懸命です。荒れ果てた山道やがけ崩れを直し、生い茂る熊笹を刈り、石をどけ、橋を直し……疲れても、困難があっても、皆でがむしゃらに作業を続けます。互いに競い合って進んだ結果、ふたつの村が峠の頂上に到着したのは、ほぼ同時。しかしどちらも、引き分けという結果では納得できません。

さてさて、ふたつの村の大勝負、いったいどうなるのでしょうか？



ある村に“こうぞ”の売り買いを商売にしている男がいました。“こうぞ”とは、紙を作る際の、原料になる木のことです。しかし、男の思うように商売はうまくいきません。今日もぶつぶつと愚痴を言

っていると、突然キツネが現れて、男に「お供えものをくれたら分銅に化けて儲かるようにしてやる。」と誘います。分銅とは、目方を量るときに使う昔の道具です。男は、悪いことをして儲けるのはどうだろう、と一度は考えました。けれど、ついキツネのうまい話にのってしまいました。それからしばらく後のこと。儲かるようになったのはいいけれど…。